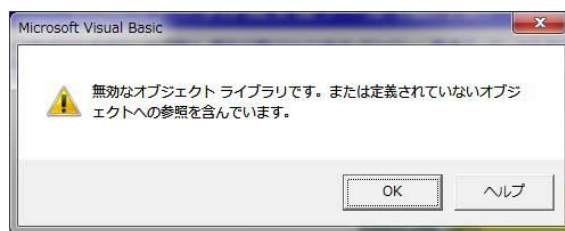


## ECALS データ作成支援ツールエラー対応

- ・この度、ECALS データ作成支援ツール起動時に Microsoft Visual Basic から「無効なオブジェクト ライブラリです。または定義されていないオブジェクトへの参照を含んでいます。」というエラーメッセージが表示され、ツールが使用できない現象が発生しております。



- ・このようなエラーが発生した際は、下記の対応によりこれまで通りツールを使用することが可能です。

### ■管理者権限を持つパソコンの場合

- ①[スタート]メニューをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
- ②[名前]ボックスに、以下のコマンドを入力して[OK]をクリックします。

Windows 32bit OS の場合：

```
regsvr32 C:\Windows\System32\MSCOMCTL.OCX
```

Windows7 64bit OS の場合：

```
regsvr32 C:\Windows\SysWOW64\MSCOMCTL.OCX
```

### ■管理者権限を持っていないパソコンの場合

- ①[スタート]メニュー-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を右クリックし、[管理者として実行]を選択します。
- ②ユーザアカウント制御の確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。
- ③コマンドプロンプトが表示されたら、以下のコマンドを張り付け、[Enter]キーを押します。

```
regsvr32 MSCOMCTL.OCX
```

### ■原因

Windows のアップグレードにより Common コントロールの登録情報が不正になるためにこの現象が発生します。

参考 URL：<http://support.microsoft.com/kb/2266789/ja>

ご利用されている皆様にはお手数おかけ致しますが、上記対応をお試し頂き、ツールのご活用をお願い申し上げます。

何卒宜しくお願い申し上げます。